

ESOMAR&各国協会連絡会議

2018年6月28日

議事録

参加者：Patrick Coucke (CUBE), Pravin Shekar (MRSI), Leonie Vorster (SAMRA), Philippe Guilbert (Syntec), Patricio Pagani (SAIMO), Kim Smouter (ESOMAR), Dominique Servant (Chair), Jan Willem Knibbe (ESOMAR)

欠席：John Smurthwaite (APAC Ambassador), Alessandra Frisso (ASBPM)

1) 9月23日 ESOMAR 大会時の協会会合

a) 会合の型式とスケジュール

ESOMAR は、ESOMAR 大会時の協会会合共催を快諾してくれたドイツの協会 ADM & BVM と打合せをしました。

b) 各国協会からのフィードバック：

各国協会からのフィードバックにより、下記の 3 つの議題について特に関心がある事がわかりました：

1. GDPR 行動規範
2. AI の発展
3. 協会のビジネスモデル

若い人材を惹き付けるという議題については、「Research Got Talent (リサーチ・ゴット・タレント)」のセッションで取り上げます。市場調査のスコープ拡大については GA&PS 収集チームが昨年の大会同様、大会と並行して全ての協会が参加出来るセッションを計画していますので、こちらで議論します。

c) 取り上げられ、議論されるべき議題-各国協会からの証言により

打ち合わせの結果、上記の議題が取り上げられるべき最も自然な流れ・順番は下記の通りとなりました。

1. AI の発展
2. GDPR 行動規範
3. 新しいビジネスモデル

AI の発展は専門家が紹介し、話すのが最も適している複雑な議題です。KS 氏が、大会参加者でこの話題を紹介するのに適した人材がいるかどうか探しています。この後のパネルディスカッションにて、この話題がどのように市場調査に関係しているのか、AI セクターとどのように関わるべきか、これらの新しいプレイヤーが協会入会にどのように結びつくのかなどについての、様々な側面から話し合いたいと思います。

GDPR の行動規範 についても会合で話し合います。こちらの議題では個人データ保護問題について、各国協会が各会員社をどのように指導し得るかなど、少し話題を広げて話し合います。オーストラリアが良い例で、彼らの行動規範を国の情報監視当局に承認してもらいました。英国の MRS も事例を提供できるかもしれません。

新しいビジネスモデルは、各国協会がどのようにして今後も存続し、認定会員制度、トレーニング、政府入札を勝ち取るための会員の義務、協会員にとって価値を高め続ける方法などの幅広い視点で議論を進めていきます。幅広い課題について話し合いますので、こちらはパネルディスカッションには向いていませんが、個々のテーブルに分かれてサブトピックについて話し合えるようにしたいと思います。

これらのトピックの、（代表とペアとなって）議長を務める連絡会議メンバーが必要になります。

2) 連絡会議の優先順位に関する簡潔なフォローアップ

b) 「リサーチ・ゴット・タレント」 (Research got talent)

KS 氏が大会の実行委員会にプログラムを連絡し、空いている時間枠を確認します。

3) 未来について考える

ESOMAR チームは、連絡会議を含めた今後数年間にわたる新しい戦略を準備しています。そのために ESOMAR チームは、本会合の役割をどのようにしてより強化すべきか、私達からの意見を求めています。ひとつの案として、連絡会議の民主的正当性を確保するために、選挙によって 2~3 の枠を開放してもらうことが考えられます。

4) その他の議題

倫理的な責任性の認知を高めるためにマーケティングを学んでいる大学生向けの教材に、ESOMAR 綱領の重要性を教えるものを含めた方が良いという提案がありました。この役割は各国協会が担えるかもしれません。

次回の会議：7月27日